

令和7年度 利尻富士町文化財年報



巡回展「宗谷の昭和100年」のようす

目 次

1. 管理運営
 - 1) 組織
 - 2) 利尻富士町文化財保護専門委員会
 - 3) 利尻島郷土資料館月別入館者数
2. 事業・活動等
 - 1) 活動状況
 - 2) 企画展示
 - 3) 資料照会・調査研究
 - 4) 資料収集
3. 利尻富士町指定文化財・埋蔵文化財包蔵地一覧
4. 調査資料



←郷土資料館HP

利尻富士町教育委員会

2026年3月

〒097-0101 北海道利尻郡利尻富士町鷺泊字富士野6

tel0163-82-1370

e-mail:kyoui-shakyo@town.rishirifuji.hokkaido.jp

1. 管理運営

1) 組織

教育長 吉田 秀昭 次長兼学芸係長 山谷 文人
社会教育係長 高田 慎也 主事 近藤 稜起 公民館業務係長 熊谷 卓耶

2) 利尻富士町文化財保護専門委員会

鈴木 祐尚 佐藤 英寛 長森 正良 西島 徹

3) 利尻島郷土資料館月別入館者数

月(開館 日数)	個人				団体			無 料 入館者	合 計 人 数	うち 外国人
	大人	中学生	小学生	計	大人	小中学生・障害者	計			
5(27日)	398	14	8	420	0	0	0	25	445	0
6(26日)	1172	14	1	1187	622	18	640	10	1837	9
7(31日)	1410	26	11	1447	849	22	871	18	2336	33
8(31日)	1510	48	55	1613	135	0	135	14	1762	36
9(25日)	1014	6	2	1022	209	0	209	40	1271	13
10(27日)	236	7	3	246	113	0	113	31	390	7
計	5740	115	80	5935	1928	40	1968	138	8041	98

6年度同様8千人台。個人については、300名ほど増えている。建物の修繕としては、外壁の水切り箇所を中心に行ない、維持管理に努めた。

館展示資料をはじめ、収蔵資料について公開可能なものは、随時北海道デジタルミュージアムへの登録を行なっている。

2. 事業・活動等

1) 活動状況

開催日	行事名	対象	人数	講師
4/14, 15, 5/22	フレイル予防教室（鴛泊、鬼脇、旭浜） 昔の地図と写真で頭の体操	高齢者	3回 34	山谷
7/9	利高総合的な探究（りしりアートビ ジターセンター見学）	2年生	4	山谷
9/17	利高ふるさと教育（ビジターセンター 見学）	1年生	15	山谷
10/17	利小・鬼中理科「利尻山について」	小6・中1年生	10	山谷
10/25	利尻神社下遺跡調査見学会	一般	8	福田正宏教授（東大）
10/27	鴛小（資料館見学）	4年生	9	山谷
11/13	第10回フィールド発表会（どんと）	一般	9	佐藤、富永、山谷、鈴木
1/20	利小社会科「町の様子と人々の暮らし」	3年生・4年生	7	山谷

月日	内 容	場所	備考
5/28	管内学芸職員連絡協議会総会・研修会	稚内市	Web 参加
6/7	道指定文化財パトロール	島内	
7/10	三重県松阪市長一行来訪	島内	松浦武四郎関係
7/19	外来種（コバノハヤシボウゲ）防除会	北麓野営場	博物館と共催（10 名参加）
8/7	中央バスシービーツアー	泉の袋澗	
9/15	北海道訪日観光案内	島内	15 名
9/26-27	オホーツク文化研究打合せ、資料調査	函館高専、市博	
10/14-25	利尻神社下遺跡発掘調査（4 次）	利尻神社下遺跡	東大との共同調査
11/17-18	管内学芸職員連絡協議会研修会	枝幸町	欠航により web 参加

印刷物・執筆関係ほか

- ・広報りしり富士「わがまちタイムスりっぷ」連載

No.262 連載 66「戦後 80 年～墨塗り教科書」

No.263 連載 67「積丹半島沖地震：利尻島にもたらされた津波被害」

No.264 連載 68「結核予防デー仮装行列」

- ・利尻島の水産だよりNo.123「北の海の語り」

往田キミさん「ニシン場の飯炊きで利尻へ」

- ・利尻しまじゅうエコミュージアム

しまじゅう通信No.4 りしりのものがたり「石は語る」

- ・北海道学芸職員部会コラムリレー「博物館～資料のウラ側」
「教科書に隠された戦後教育の転換」



外来種防除会

2) 企画展示

期間	テーマ	場所	来場者数 (町民)	協力機関
8/13-9/15	管内巡回展「宗谷の昭和 100 年 ー戦争の時代から復興へー」	りしりアートビジ ターセンター	5 6 1 (1 3 3)	稚内、枝幸、礼文、 利尻各教委

3) 資料照会・調査研究

月日	氏名・機関名	対象資料	点数	備考
6/23	松田正孝（大阪電気通信大学）	墨塗り教科書写真		墨ぬり教科書ー敗戦直後の 日本の教育とアメリカン・ デモクラシー掲載
6/24	文化庁田中調査官ほか植生調査視察	町内植生地、施設		
9/3-9/5	木村美幸（岐阜聖徳学園大学）	鬼脇村役場文書		徴兵制度関係
11/5	ウォータアンドライフ社	マクドナルド		

8/6-8, 12/25	波田尚大（北海道博物館）	鬼脇村役場文書		七夕等習俗関係
-----------------	--------------	---------	--	---------

＊上記のほか、個人の先祖ルーツ探しやクマ渡海に伴う資料問合せが寄せられた。

4) 資料収集（7年1月～7年12月受入分）

No.	資 料 名	点数	年 代	寄贈者・提供元	備 考
1	タラバガニ漁家写真	1	大正期？	資料館内	
2	行李（子ども・男性用丹前）	2		吉田満	
3	スキー板、竹ストック、ブーツ、 金具一式、アザラシ皮シール		昭和		
4	皆朱＊＊吸物膳捨人前	2	大正8年3月		
5	蓑盆入、蛭子講膳捨人前、弁当 箱、岡持、おひつ、木桶				
6	飾玉小皿函	1	大正3年10月		
7	火鉢	1	昭和8年		
8	トド頭骨	1	2010年代		トド撃ちによるもの

3. 利尻富士町指定文化財・埋蔵文化財包蔵地一覧

・町指定文化財（20件）

昭和54年10月26日指定

No.	名 称	年 代	種 別	所 在 地	所有者・管理者
1	南浜獅子神楽	明治中期	無形民俗文化財	鬼脇字南浜	南浜獅子神楽保存会
2	奥の院（利意志里山大権現）	明和2[1765]？	有形文化財	鴛泊字本泊	本泊自治会
3	厳島神社	18C末～19C初	有形文化財	鴛泊字港町	港町自治会
4	会津藩士の墓	文化5[1808]	有形文化財	鴛泊字本泊 慈教寺	本泊自治会
5	会津藩士の墓	文化5[1808]	有形文化財	鴛泊字港町 ペシ岬	碑保存顕彰会
6	本泊頓宮鳥居	天保9[1838]	有形文化財	鴛泊字本泊	本泊自治会
7	利尻山神社境内	明治9[1876]	有形文化財	鴛泊字本町	利尻山神社
8	リイシリ運上屋跡	明和2[1765]	史跡	鴛泊字本泊	利尻富士町
9	金刀比羅神社本殿	明治25[1892]	有形文化財	鬼脇字鬼脇	世話人会
10	北見神社境内	明治32[1899]	有形文化財	鬼脇字鬼脇	北見神社
11	利尻島郷土資料館	大正2[1913]	有形文化財	鬼脇字鬼脇	利尻富士町
12	大沢寺鐘楼堂	明治28[1895]	有形文化財	鬼脇字鬼脇	大沢寺
13	桐山三四郎顕彰碑	明治44[1911]	有形文化財	鬼脇字鬼脇桐山公園内	利尻富士町
14	綱島貞助顕彰碑	昭和2[1927]	有形文化財	鬼脇字鬼脇北見神社内	北見神社
15	北海道三景の碑	大正13[1924]	有形文化財	鬼脇字鬼脇北見神社内	北見神社
16	宗谷区務所往書留	明治10[1877]	古文書	鬼脇字鬼脇	利尻富士町（資料館蔵）
17	栄町キャンプ場遺跡	旧石器時代	史跡	鴛泊字栄町	利尻富士町
18	沼浦湿原		天然記念物	鬼脇字沼浦	利尻富士町

19	南浜湿原		天然記念物	鬼脇字南浜	利尻富士町
20	ラナルド・マクドナルド渡島の地	嘉永元[1848]	史跡	鴛泊字野塚	利尻富士町

・埋蔵文化財包蔵地（20 件）

登載番号	名 称	種別	現状	所 在 地	年 代
H-10-1	大磯 1 遺跡	遺物包含地	雑種地	鴛泊字大磯 126-1・2, 127～132, 134-1, 151, 153～156, 157-1～5, 158, 159-1～5, 160～162, 179-1～3, 180～182	縄文中期 ～続縄文
H-10-2	大磯 2 遺跡	集落跡	原野	鴛泊字大磯 31-2, 38-1・3, 40, 41, 59～62, 63-1・2, 64, 65-1・2, 66～70, 86-1・2, 88, 89, 93, 94, 95-1・2, 96-1・2, 97, 98-1・2, 99, 100	縄文中期 ～オホーツク
H-10-3	本泊遺跡	集落跡	原野、宅地、畑	鴛泊字大磯 3, 4, 5-1・2, 6, 7, 31-1, 字本泊 221-1, 222, 223-1～3, 224, 226-1～3, 227-1・2, 228, 229, 232-1・2, 248, 249, 250-1～4, 251-1～3, 252, 253-1・2・4・5, 261-1～4, 262-1～3, 263, 264, 266～269, 270-1, 271, 1126～1128, 1133-1・3・4	縄文中後期、 擦文
H-10-4	栄町遺跡	遺物包含地	宅地、畑	鴛泊字栄町 222～224-1, 343	縄文中後期
H-10-5	栄町キャンプ場遺跡	遺物包含地	植林地	鴛泊字栄町 227-3	旧石器、縄文
H-10-6	港町 1 遺跡	集落跡	畑	鴛泊字港町 121, 122, 138, 139-1・2・3, 140～147, 198-1	縄文中期
H-10-7	利尻富士町役場遺跡	集落跡	宅地	鴛泊字港町 118-1・4, 119-1～3, 120-1・2, 121-1・2, 122-1・2, 123-1・2・5, 124, 125-1, 126-1～3, 132, 133, 137, 279-1・2	縄文早晩期 ～オホーツク
H-10-8	ペシ岬遺跡	遺物包含地	原野、畑	鴛泊字港町 90, 93, 94, 96～98, 264	続縄文 ～オホーツク
H-10-9	鴛泊港遺跡	遺物包含地	港湾用地、原野	鴛泊字港町 86-3, 87-1～3, 88-1・3・5, 90	オホーツク
H-10-10	ペシ岬灯台遺跡	遺物包含地	灯台用地	鴛泊字港町 90	続縄文 ～オホーツク
H-10-11	野塚展望台遺跡	遺物包含地	原野、畑	鴛泊字野塚 279-1・2, 280, 281, 282-2, 283-1・2, 284, 287-1～6, 国有未開地	縄文中晩期
H-10-12	野塚岬遺跡	遺物包含地	畑	鴛泊字野塚 206, 207, 209～214, 242～248, 249-1～3, 250	縄文 ～オホーツク
H-10-13	野塚遺跡	遺物包含地	畑	鴛泊字野塚 101-1・2, 102-1～6, 103-1～12, 107-1～4・9・12～15, 109, 110-1～4, 111, 112, 113-1～3, 114, 115-1～3, 116-1～3, 117～122, 124, 125-1・2, 126-1・3・4・5	縄文 ～オホーツク
H-10-14	野塚第 2 遺跡	遺物包含地	宅地	鴛泊字野塚 11-1・2, 12, 15, 15-1, 16, 26, 27, 28-1・	縄文中期

				2, 29～31, 32-1・2・8～19, 33-2, 35-2	
H-10-15	鬼脇遺跡	遺物包含地	原野、畑	鬼脇 10～12, 313	オホーツク
H-10-16	沼浦海水浴場遺跡	貝塚	畑	鬼脇字沼浦 110～122, 123-1・2, 124～130, 131-1, 133-1, 143-1・2, 144-1・2, 148-1, 149-1, 150, 151, 187, 188-1～3, 190-1, 国有未開地	縄文後晩期～ 擦文
H-10-17	沼浦遺跡	貝塚	宅地、畑	鬼脇字沼浦 88-4, 89-1・2, 90, 99, 100, 101-1・2, 102-1・2, 197, 198, 199-1・2, 200-1・2, 201-1・2, 203	縄文晩期 ～オホーツク
H-10-18	本泊小学校遺跡	遺物包含地	畑、原野、校地	駕泊字本泊 106	擦文
H-10-19	利尻神社下遺跡	遺物包含地	畑	駕泊字本町 138-1・2, 栄町 227-11, 国有地	続縄文 ～オホーツク
H-10-20	港町2遺跡	遺物包含地	畑	駕泊字港町 146, 147, 国有林	縄文後期

4. 調査資料

11月13日に行なわれた第10回フィールド発表会での発表資料2本のほか、町内匿名で提供いただいた「甘露泉水」の由来に関わるコメントを掲載する。

- ・清川水源地の「水神」 別紙資料
- ・本泊神社由来の「鰐口」 別紙資料

- ・甘露泉の命名について

山で仕事をしていた吉田徳次が清水を見つけ「甘露泉」と名付けた（大正時代頃か）。情報提供者が小さい頃、旧道からその場所によく遊びに行ったが、現在の東屋を越えた所に丸太を半分に割った柱に墨で甘露泉と大きく書かれたものが立っていたと記憶している。

下の写真は、現在も建つ「甘露泉（昭和10年7月順厚建立）」の石柱



清川水源池の「水神」



2025. 11. 13 どんと 第10回フィールド発表会資料
山谷文人(利尻富士町教委)

現在の水源池



大正時代の水源池



清川への移住



明治35年 清川美保神社遷宮の写真(谷口豊次所蔵)
* 昭和43年頃、金刀比羅神社へ合祀(町史より)



2つの社(2025年9月)



安置されている石像の正体は？



高さ55.5cm

石質:凝灰岩



不動

昭和二十二年二月二十八日

清川

佐藤ク●



向かって右側の社の石像



不動明王

高さ90cm 石質:安山岩?



発起人
井川市三郎
吉田定吉
木村ウメ
川村チヨ
杉山ヨシ
山田マサ
昭和二十七年
一月二十八日

安置された石像の共通点

- 不動明王
水神との関係
- 1月28日
初不動とよばれる日、毎月28日が縁日
- 色

移住元の痕跡～石材に着目

- 昭和22年石像
凝灰岩・・・利尻にない石・・・ではどこから？
* 笏谷石(緑色凝灰岩) 福井県足羽山
ちなみに、森山石(凝灰質砂岩)も似る(島根県)
- 昭和27年石像
安山岩? 彩色(青)

まとめと課題

- 昭和22年石像の石材は、笏谷石の可能性大。
島内では、かつて住宅の基礎石や墓石として
利用がみられた(郷土資料館に展示)
- 清川地区移住者の大半を占める鳥取でもな
じみのある石材で、
信仰に馴染むもの。
- 美保神社の青石置
通りにも森山石とと
もに使われている。
- 奉納者の出自調査。

清川地区への移住元(大正7年調べ)	戸数
鳥取県	55戸
北海道	6戸
青森県	5戸
秋田県	6戸
新潟県	4戸
富山県	3戸
石川県	2戸
山形県、宮城県	各1戸

本泊神社由来の「鰐口」



2025. 11. 13 どんと
第10回フィールド発表会資料
山谷文人(利尻富士町教委)

鰐口(わにぐち)の発見

きっかけは、鈴木祐尚さん
(町文化財保護専門委員)か
らの情報で、これまで全く未
知だった資料

昭和51年、本泊神社再建時
に、鈴木氏が発見し自宅に保
管していた。



資料は、青銅製で下半部(口)中心に歪んでおり、亀裂や欠損がある。歪んだ原因は、明治32年の山火事によって社殿が焼失、その際の被熱の影響と思われる、表面に炭化物が付着している。

タテ 21 cm
ヨコ 24 cm (面径 20 cm)
厚さ約 7 cm



くわしく調査するため拓本をとる

願主 松前吉田喜右衛門



文化十五戌：(以下、欠損)

鰐口をくわしく調査

元号がはっきりしない部分があるが、文化15年(1818年)戊寅(つちのえとら)と推定される。同年4月22日改元により文政元年となるので、1月1日から4月21日の間に奉納された。

表面の内区に文様があり、銘帯に年代や願主が刻まれている。耳(吊鐙)は三角形状、目はラッパ状に突き出ている。

場所請負の変遷

年代	できごと	利尻・宗谷場所の請負人
1765(明和2)年		利尻、礼文、宗谷を6代目岡田弥三右衛門(㊥イチゼンバシ)恵比須屋)が請け負う
1775(安永4)年		飛騨屋武川久兵衛が宗谷場所を請け負う
1782(天明2)年		宗谷厳島神社創建
1786(天明6)年		利尻を岡田勘七が請け負う
1807(文化4)年	文化露冠	利尻を岡田源兵衛が請け負う
1808(文化5)年	会津藩北方警備	藤野喜兵衛(又十(マタジウ)柏屋)、恵比須屋西川准兵衛、坪田佐兵衛、共同で宗谷・枝幸・紋別・常呂・網走・斜里を請け負う(組合請負)
1810(文化7)年		藤野家、利尻請負人恵比須屋(岡田)弥惣治と熟談のうえ、4ヶ年間の約定で利尻に出漁し、鯨場3ヶ所を開き着業。
1815(文化12)年		藤野家、文化5年の組合請負を改め一手請負となる
1818(文化15・文政元)年		松前吉田喜右衛門により鰐口が奉納される
1823(文政6)年		藤野家、利尻・礼文の両島漁場請負出願許可される。
1869(明治2)年	場所請負制度廃止	制度廃止されるまで、藤野家が請負。

調査中① 鰐口の類例

道内の近世の鰐口は、20例ほど知られている。

・宗谷管内における近世の鰐口は、宗谷厳島神社のみ。1782(天明2)年、飛騨屋支配人 向井金蔵が奉納。

・焼尻厳島神社奉納の鰐口(1830(文政13)年)

調査中② 吉田喜右衛門の人物像

* 願主の吉田喜右衛門は、松前ゆかりの人物

a.1802(享和2)年、福山川原町 吉田喜右衛門が高島場所の支配人(西川家による場所請負)

b.標津神社の石灯籠(1842(天保13)年)

奉納者 吉田喜右衛門、館村順兵衛(藤野家系統)

c.1856(安政3)年の「支配人番人稼方勤仕帳 リイシリ運上家」に記載のある人物

松前川原町 喜右衛門 56歳(38年在籍 = 1818年～利尻島に着任、1800年生まれ)

d.1853(嘉永元)年、マクドナルドの日本回想記に出てくる「Kemon」=喜右衛門

各神社のおもな寄進物

寺社名	種別	造立・寄進年代	造立者(施主・願主)
奥の院	鳥居	1827(文政10)年正月吉日	支配人 阿部喜右衛門 勢立丸 * * *
	石灯笼	1825(文政8)年3月吉日	阿部喜右衛門 住吉丸船頭 清六
	手洗鉢	1826(文政9)年3月吉日	支配人 阿部喜右衛門
本泊神社	鳥居	1838(天保9)年3月吉日	又十支配人 阿部喜右衛門
	石灯笼(常燈)	1839(天保10)年8月吉日	柏屋船頭中
	鰐口	1818(文化15)年 * * *	願主 松前 吉田喜右衛門
厳島神社 (鷺泊)	鳥居	1830(文政13)年2月吉日	阿部喜右衛門 住吉丸清六
	黄銅製吊灯笼	安政年間	リイシリ運上家 柏屋船頭中
利尻山神社 (鷺泊)	絵馬 (吉本善京筆)	不明	支配人 盛喜右衛門 惣番人中
利尻島以外			
根室 弁天島 市杵島神社	鳥居	1835(天保6)年3月	願主 阿部喜右衛門 藤屋善吉
稚内 岬神社	鳥居	1831(天保2)年正月吉日	支配人 阿部喜右衛門 番人 * *
礼文 厳島神社	鳥居	1832(天保3)年	又十世話人 阿部喜右衛門 柏屋小平

まとめと課題

- 今回発見された「鰐口」は、場所請負の実態が不詳な時期のもので貴重

- 奉納者の特定

c・dは阿部喜右衛門

a・bは吉田喜右衛門(西川家と藤野家の違いがあるが、共同経営もあり)

a・cは松前(福山)川原町だが、生年が合わず別人

cは1818年に利尻着任＝鰐口の奉納年代と合致するが、偶然？あるいは吉田姓と阿部姓の関係は？(改姓？)